



## SDM テンプレートの設定

コマンドの構文および使用方法については、Catalyst 3560 スイッチ コマンド リファレンスを参照してください。

- 「SDM テンプレートの概要」(P.7-1)
- 「スイッチ SDM テンプレートの設定」(P.7-3)
- 「SDM テンプレートの表示」(P.7-5)

## SDM テンプレートの概要

ネットワークでのスイッチの使用状況に応じて、SDM テンプレートを使用して、特定の機能に対するサポートを最適化するようにスイッチのシステム リソースを設定できます。一部の機能にシステムを最大限に利用させるようにテンプレートを選択したり、デフォルトテンプレートを使用してリソースを均衡化することができます。

Ternary CAM (TCAM) リソースをさまざまな用途に割り当てるために、スイッチ SDM テンプレートはシステム リソースにプライオリティを設定して、特定の機能のサポートを最適化します。SDM テンプレートを選択すると、次に示す機能を最適化することができます。

- **アクセス**：アクセス テンプレートは、多数の ACL に対応できるように ACL のシステム リソースを最大化します。
- **デフォルト**：デフォルト テンプレートは、すべての機能に均等にリソースを割り当てます。
- **ルーティング**：ルーティング テンプレートは、一般的に、ネットワークの中心にあるルータまたはアグリゲータで必要となります。IPv4 ユニキャスト ルーティングに対して、システム リソースを最大化します。
- **VLAN**：VLAN（仮想 LAN）テンプレートは、ルーティングをディセーブルにし、最大数のユニキャスト MAC（メディア アクセス コントロール）アドレスをサポートします。通常は、レイヤ 2 スイッチ用に選択されます。

さらに、デュアル IPv4/IPv6 テンプレートにより、2 重のスタック環境が実現します。「[デュアル IPv4/IPv6 SDM テンプレート](#)」(P.7-2) を参照してください。

表 7-1 各テンプレートが許容する機能リソースの概数

リソース	アクセス	デフォルト値	ルーティング	VLAN
ユニキャスト MAC アドレス	4 K	6 K	3 K	12 K
IGMP グループとマルチキャスト ルート	1 K	1 K	1 K	1 K
ユニキャスト ルート	6 K	8 K	11 K	0

表 7-1 各テンプレートが許容する機能リソースの概数（続き）

リソース	アクセス	デフォルト値	ルーティング	VLAN
• 直接接続されたホスト	4 K	6 K	3 K	0
• 間接ルート	2 K	2 K	8 K	0
ポリシーベース ルーティング ACE	512	0	512	0
QoS 分類 ACE	512	512	512	512
セキュリティ ACE	2 K	1 K	1 K	1 K
レイヤ 2 VLAN	1 K	1 K	1 K	1 K

表の最初の 8 行（ユニキャスト MAC アドレスからセキュリティ ACE まで）は、各テンプレートが選択されたときに設定されるハードウェアのおおよその限度を表します。ハードウェア リソースのある部分が一杯の場合は、処理のオーバーフローはすべて CPU に送られ、スイッチのパフォーマンスに重大な影響が出ます。最後の行は、スイッチのレイヤ 2 VLAN の数に関連するハードウェア リソース消費量を計算するための目安です。

## デュアル IPv4/IPv6 SDM テンプレート

SDM テンプレートを選択して IP バージョン 6 (IPv6) をサポートすることができます。IPv6 の詳細および IPv6 ルーティングの設定手順については、第 37 章「IP ユニキャスト ルーティングの設定」を参照してください。

このソフトウェア リリースは、IPv6 トラフィック転送時に Policy-Based Routing (PBR) をサポートしません。**dual-ipv4-and-ipv6 routing** テンプレートが設定されている場合に限り、このソフトウェアは IPv4 PBR をサポートします。

デュアル IPv4/IPv6 テンプレートを使用することにより、(IPv4 と IPv6 の両方をサポートする) デュアル スタック環境でスイッチを使用できるようになります。デュアル スタック テンプレートを使用すると、各リソースで許容できる TCAM 容量が少なくなります。IPv4 トラフィックだけを転送する場合は、使用しないでください。

次に示す SDM テンプレートは、IPv4 および IPv6 環境をサポートしています。

- デュアル IPv4/IPv6 デフォルト テンプレート：IPv4 のレイヤ 2、マルチキャスト、ルーティング、QoS、ACL、および IPv6 のレイヤ 2、ルーティング、ACL をサポートします。
- デュアル IPv4/IPv6 ルーティング テンプレート：IPv4 のレイヤ 2、マルチキャスト、ルーティング (ポリシーベース ルーティングを含む)、QoS、ACL、および IPv6 のレイヤ 2、ルーティング、ACL をサポートします。
- デュアル IPv4/IPv6 VLAN テンプレート：IPv4 の基本レイヤ 2、マルチキャスト、QoS、ACL、および IPv6 の基本レイヤ 2 と ACL をサポートします。



(注)

IPv4 ルートに必要なのは、1 つの TCAM エントリだけです。IPv6 ではハードウェア圧縮方式が使用されるため、IPv6 ルートは複数の TCAM エントリを使用することができ、ハードウェアで転送されるエントリ数が削減されます。たとえば、IPv6 によって直接接続された IP アドレスの場合、デスクトップ テンプレートで使用可能なエントリ数は 2000 未満になります。

表 7-2 デュアル IPv4/IPv6 テンプレートで割り当てられる機能リソースの概数<sup>1</sup>

リソース	IPv4 および IPv6 のデフォルト	IPv4 および IPv6 のルーティング	IPv4 および IPv6 の VLAN
ユニキャスト MAC アドレス	2 K	1536	8 K
IPv4 IGMP グループとマルチキャスト ルート	1 K	1 K	1 K
IPv4 ユニキャスト ルートの総数	3 K	2816	0
• 直接接続された IPv4 ホスト	2 K	1536	0
• 間接的な IPv4 ルート	1 K	1280	0
IPv6 マルチキャスト グループ	1 K	1152	1 K
IPv6 ユニキャスト ルートの総数	3 K	2816	0
• 直接接続された IPv6 アドレス	2 K	1536	0
• 間接的な IPv6 ユニキャスト ルート	1 K	1280	0
IPv4 ポリシーベース ルーティング ACE	0	256	0
IPv4 または MAC QoS ACE (総数)	512	512	512
IPv4 または MAC セキュリティ ACE (総数)	1 K	512	1 K
IPv6 PBR ACE <sup>2</sup>	0	255	0
IPv6 QoS ACE	510	510	510
IPv6 セキュリティ ACE	510	510	510

- この見積もりには、8 つのルーテッドインターフェイス、約 1000 個の VLAN が設定されたスイッチを使用しています。
- IPv6 ポリシーベース ルーティングはサポートされません。

## スイッチ SDM テンプレートの設定

- 「[デフォルトの SDM テンプレート](#)」(P.7-3)
- 「[SDM テンプレートの設定時の注意事項](#)」(P.7-3)
- 「[SDM テンプレートの設定](#)」(P.7-4)

### デフォルトの SDM テンプレート

デフォルト テンプレートは、デフォルトのデスクトップ テンプレートです。

### SDM テンプレートの設定時の注意事項

- SDM テンプレートを選択して設定する場合、設定した内容を有効にするには、スイッチをリロードする必要があります。

- ルーティングをサポートしていないレイヤ 2 スイッチング専用スイッチ上に限って、**sdm prefer vlan** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用してください。VLAN テンプレートを使用している場合は、ルーティング エントリ用のシステム リソースは予約されないため、ルーティングはソフトウェアを通じて実行されます。この場合、CPU に負荷がかかり、ルーティングのパフォーマンスが大幅に低下します。
- スイッチでのルーティングをイネーブルにしない場合は、ルーティング テンプレートを使用しないでください。**sdm prefer routing** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用すると、他の機能がルーティング テンプレート内のユニキャスト ルーティングに割り振られたメモリを使用するのを防ぐことができます。
- デュアル IPv4/IPv6 テンプレートを最初に選択しないで IPv6 を設定しようとする、警告メッセージが表示されます。
- デュアル スタック テンプレートを使用すると、リソースごとに使用可能な TCAM 容量が少なくなるため、IPv4 トラフィックだけを転送する場合は、このテンプレートを使用しないでください。

## SDM テンプレートの設定

SDM テンプレートを使用して機能動作を最適にサポートするには、特権 EXEC モードで次の手順を実行します。

	コマンド	目的
ステップ 1	<b>configure terminal</b>	グローバル コンフィギュレーション モードを開始します。
ステップ 2	<b>sdm prefer {access   default   dual-ipv4-and-ipv6 {default   routing   vlan}   routing   vlan}</b>	<p>スイッチで使用する SDM テンプレートを指定します。 キーワードの意味は次のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• <b>access</b> : ACL のシステム リソースを最大化します。</li> <li>• <b>default</b> : すべての機能に均等にリソースを割り当てます。</li> <li>• <b>dual-ipv4-and-ipv6</b> : IPv4 と IPv6 ルーティングを両方サポートするテンプレートを選択します <ul style="list-style-type: none"> <li>– <b>default</b> : IPv4/IPv6 のレイヤ 2 およびレイヤ 3 機能を均衡化します。</li> <li>– <b>routing</b> : IPv4 ポリシーベース ルーティングを含む IPv4 および IPv6 ルーティングを最大限に使用します。</li> <li>– <b>vlan</b> : IPv4/IPv6 VLAN を最大限に使用します。</li> </ul> </li> <li>• <b>routing</b> : スイッチでの IPv4 ルーティングを最大化します。</li> <li>• <b>vlan</b> : ハードウェアでのルーティングをサポートしないスイッチでの VLAN 設定を最適化します。</li> </ul> <p>スイッチをデフォルトのテンプレートに設定するには、<b>no sdm prefer</b> コマンドを使用します。</p>
ステップ 3	<b>end</b>	特権 EXEC モードに戻ります。
ステップ 4	<b>reload</b>	OS (オペレーティング システム) をリロードします。

システムの再起動後、**show sdm prefer** 特権 EXEC コマンドを使用して、新しいテンプレート設定を確認できます。**reload** 特権 EXEC コマンドを入力する前に、**show sdm prefer** コマンドを入力すると、**show sdm prefer** コマンドにより、現在使用しているテンプレートおよびリロード後にアクティブになるテンプレートが表示されます。

次は、テンプレートを変更後にスイッチをリロードしなかった場合の出力表示の一例です。

```
Switch# show sdm prefer
The current template is "desktop routing" template.
The selected template optimizes the resources in
the switch to support this level of features for
8 routed interfaces and 1024 VLANs.
```

```
number of unicast mac addresses:          3K
number of igmp groups + multicast routes: 1K
number of unicast routes:                11K
number of directly connected hosts:      3K
number of indirect routes:               8K
number of qos aces:                      512
number of security aces:                 1K
```

On next reload, template will be "desktop vlan" template.

デフォルトのテンプレートに戻すには、**no sdm prefer** グローバル コンフィギュレーション コマンドを使用します。

次に、ルーティング テンプレートを持つスイッチの設定例を示します。

```
Switch(config)# sdm prefer routing
Switch(config)# end
Switch# reload
Proceed with reload?[confirm]
```

次に、デスクトップ スイッチに IPv4/IPv6 デフォルト テンプレートを設定する例を示します。

```
Switch(config)# sdm prefer dual-ipv4-and-ipv6 default
Switch(config)# exit
Switch# reload
Proceed with reload?[confirm]
```

## SDM テンプレートの表示

アクティブ テンプレートを表示するには、パラメータを指定せずに **show sdm prefer** 特権 EXEC コマンドを使用します。

指定のテンプレートがサポートしているリソース数を表示するには、**show sdm prefer [access | default | dual-ipv4-and-ipv6 {default | vlan | routing} vlan]** 特権 EXEC コマンドを使用します。

次は、使用中のテンプレートを表示する **show sdm prefer** コマンドの出力例です。

```
Switch# show sdm prefer
The current template is "desktop default" template.
The selected template optimizes the resources in
the switch to support this level of features for
8 routed interfaces and 1024 VLANs.
```

```
number of unicast mac addresses:          6K
number of igmp groups + multicast routes: 1K
number of unicast routes:                8K
number of directly connected hosts:      6K
number of indirect routes:               2K
number of policy based routing aces:     0
number of qos aces:                      512
number of security aces:                 1K
```

次に、**show sdm prefer routing** コマンドの出力例を示します。

```
Switch# show sdm prefer routing
```

```
"desktop routing" template:
The selected template optimizes the resources in
the switch to support this level of features for
8 routed interfaces and 1024 VLANs.
```

```
number of unicast mac addresses:          3K
number of igmp groups + multicast routes: 1K
number of unicast routes:                11K
  number of directly connected hosts:     3K
  number of indirect routes:              8K
number of policy based routing aces:      512
number of qos aces:                      512
number of security aces:                 1K
```

次に、**show sdm prefer dual-ipv4-and-ipv6 default** コマンドの出力例を示します。

```
Switch# show sdm prefer dual-ipv4-and-ipv6 default
"desktop IPv4 and IPv6 default" template:
The selected template optimizes the resources in
the switch to support this level of features for
8 routed interfaces and 1024 VLANs.
```

```
number of unicast mac addresses:          2K
number of IPv4 IGMP groups + multicast routes: 1K
number of IPv4 unicast routes:           3K
  number of directly-connected IPv4 hosts:  2K
  number of indirect IPv4 routes:           1K
number of IPv6 multicast groups:         1K
number of directly-connected IPv6 addresses: 2K
number of indirect IPv6 unicast routes:   1K
number of IPv4 policy based routing aces:  0
number of IPv4/MAC qos aces:              512
number of IPv4/MAC security aces:         1K
number of IPv6 policy based routing aces:  0
number of IPv6 qos aces:                  510
number of IPv6 security aces:             510
```